

住友化学子会社が Roivant と戦略的提携で基本合意ーグループ財務構成に対する影響に注目

以下は、住友化学株式会社（証券コード：4005）の連結子会社大日本住友製薬株式会社（証券コード：4506）が、英国 Roivant Sciences Ltd. と戦略的提携に関する基本合意書を締結したことに対する株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 大日本住友製薬は本日、英国 Roivant Sciences Ltd. (Roivant) と戦略的提携に関する基本合意書を締結したことを発表した。今後、両社はデュエ・デリジェンスおよび戦略的提携に関する詳細な条件等についての協議を行い、19年10月末を目途に法的拘束力を有する正式契約を締結する予定である。正式契約が行われる場合、大日本住友製薬は Roivant が保有する子会社5社の株式および Roivant の株式の10%以上を取得する。このほか、医薬関連プラットフォーム獲得等の対価とあわせ、総額約30億米ドル（約3,200億円）を Roivant に支払うことが想定されている。なお、当該支払については正式契約で確定される予定となっている。
- (2) 大日本住友製薬の主力である「ラツダ」（非定型抗精神病薬）は、用途特許や製剤特許の成立で、当面、安定した利益貢献が見込める状況となっている。ただ、23年以降には後発薬が登場するとみられ、独占販売期間満了後に向けての対応が必要となっていた。本戦略的提携が実現した場合、大日本住友製薬は22年度までに承認が期待され、将来的にブロックバスターとなりうる開発品を含む多数のパイプラインを獲得する。ポストラツダの対応を含め、住友化学グループの中長期的な成長にも資するものと考えられる。ただ、本件で想定されている対価は、大日本住友製薬の20/3期第1四半期末の手元現預金を大きく上回る。同対価の支払いが実施された場合、住友化学グループ全体の有利子負債も相応に増加する可能性がある。JCR では今後、本件協議の進捗や大日本住友製薬による資金調達方法、グループ財務構成への影響などを確認・精査したうえで格付に反映させていく。

(担当) 窪田 幹也・藤田 剛志

【参考】

発行体：住友化学株式会社

長期発行体格付：A+

見通し：ポジティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル